

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ウッドワン

コード番号 7898 URL <http://www.woodone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中本 祐昌

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事部長兼経理部長

(氏名) 藤田 守

TEL 0829-32-3333

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	15,192	△4.1	192	△43.1	△246	—	△134	—
26年3月期第1四半期	15,838	10.0	339	△41.7	△76	—	△66	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △472百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △831百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△2.88	—
26年3月期第1四半期	△1.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	98,456	42.2	44,419	42.2		
26年3月期	98,231	42.7	44,882	42.7		

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 41,544百万円 26年3月期 41,931百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	3.75	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,100	3.5	1,200	△4.1	600	13.4	1,500	75.6	32.15
通期	69,300	0.1	2,700	△10.8	1,600	△4.1	2,000	16.1	42.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、3ページ[2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示]をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	49,209,846 株	26年3月期	49,209,846 株
27年3月期1Q	2,549,948 株	26年3月期	2,549,438 株
27年3月期1Q	46,659,938 株	26年3月期1Q	46,662,950 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、景気回復が緩やかに進行し、企業収益に改善がみられる一方で、個人所得・個人消費の伸び悩みが続くとともに、円安による原材料・燃料コストの上昇、消費税増税に伴う景気減速等の懸念が払拭されず、依然として不透明な状況で推移しました。

住宅業界におきましては、平成26年度に入り、消費税増税に伴う反動減から新設住宅着工戸数は、前年同月に比べると減少傾向が継続し、また当社グループの主力分野である持家や分譲戸建住宅は、職人不足や円安による資材価格の高騰も加わり、同様に前年比マイナスで推移しました。

当社グループにおきましては、1990年のニュージーランド山林経営への進出時を『第二の創業』と定義しています。当連結会計年度は『第三の創業』とし、これまで培ってきたDNAを土台として、今後の劇的な環境変化にも対応し得る体制を構築し、当社グループの独創的な市場を創造して、グローバルに成長していく新時代のスタートの年としています。『挑む!第三の創業』を基本方針とし、『伸びるチャンネルで売り!伸ばす商品を伸ばし!稼げる商品で稼ぐ!』を営業方針とし、森林認証(※)を取得しているニュージーランドの森林資源を活用したピノアースシリーズを中心に、木が持つ潜在能力を梃子(てこ)に、新成長市場であるアジア市場や国内のリフォーム・中古再販市場などで、“勝てる市場×勝てる仕掛け”を創造し、売上増大に努めています。

平成25年度に新装オープンした広島・大阪・新宿のショールームは、無垢キッチン「スイージー」を主体に、床材、内装建具などをトータルコーディネートすることで、お客様が実際の生活空間をイメージしやすいルームを再現し、来場客数は大幅に増加しています。“木のぬくもりを暮らしの中へ”をキャッチフレーズとして、これらのショールームを中心に全国のショールームを最大限活用して、無垢キッチン・無垢商品の販売を強化し好評を得ています。

当社グループは、環境共創企業として、これまで以上に、所有する山林資源を有効に活用した新製品の開発や業界をリードする省施工・簡単施工商品群を提案し、併せて更なる業務の効率化・コスト削減・資産の効率化等を図り、新しい顧客開拓にも注力していきます。

住宅建材では、組み替え可能な収納「e・ra・bo」などの売上げが伸びました。リフォーム用として無垢フローリング「ピノアース6mm厚タイプ」、内窓で国内初のFSC認証製品である無垢の木の内窓「MOKUサッシ」、断熱改修を手軽に実現可能とするリフォーム用断熱改修パネル「あったかべ」、簡単に無垢材の素材感が味わえる無垢カーペット「びたゆか」、内装床材では、厚貼りフローリングの手作り工芸調床材コンビットクラフトシリーズ、階段では、職人不足対策や工期短縮を実現するセットオン階段「Light」等、ニーズに応える様々な商品展開を行い拡販いたしました。また、林野庁による木材利用ポイント事業において、これまで国産材を活用したフローリング「コンビットエコヴェルデ」に加えて、平成26年5月21日に当社グループが、主力商品として扱うラジアータパイン(ニュージーランド産)も、対象地域材の樹種の要件を満たすものと認められ、ラジアータパインを材料とした床材・壁材・天井材などの当社製品が木材利用ポイントの対象製品となりました。さらに、同年5月にはインテリア性の高い上質な空間を提案する室内ドア「ソフトアートシリーズE type」を新発売しました。

住宅設備機器では、ニュージーパイン®、メイプル、オーク、ウォールナットの4つの樹種の無垢扉が選べる無垢キッチン「スイージー」は、住宅の室内ドアや床材などの内装材とトータルコーディネートできる相乗効果を生み、売上は大きく伸びています。また、ニュージーパイン®の無垢扉を採用した特別仕様の限定プラン「スイージートリコ」を投入し、売上高増強を図りました。さらにこの無垢キッチン「スイージー」のシリーズとして、手で“触れなくなる”ような木の質感が漂うテーブル、ベンチ、スツールに展開した「スイージーファニチャー」を拡販しました。

また、当社では海外関連子会社を含めた新たな加工・流通・販売体制の構築を行い、成長著しいアジア市場など海外向けの売上増大に努めています。

当社グループでは、このような施策を行い、販売数量の増加による売上高増加・付加価値の高い商品へのシフト・製造コスト削減に努めましたが、新設住宅着工戸数の反動減や円安による資材価格の高騰等により、前年同期比では、売上高・利益ともに減少となりました。

この結果、連結売上高は、15,192百万円(前年同期比4.1%減)、営業利益192百万円(前年同期比43.1%減)、経常損失246百万円(前年同期は経常損失76百万円)、四半期純損失134百万円(前年同期は四半期純損失66百万円)となりました。

(※) 国際的な審査機関FSC®(森林管理協議会)のFM認証(森林管理認証)とCoC認証(加工・流通過程の管理認証)の総称/ライセンスNo.FSC-C043904

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間における連結財政状態は、前連結会計年度に比べ、資産が225百万円増加、負債が688百万円増加、純資産が462百万円減少しました。主な内訳として、資産の増加は、主に現金及び預金の985百万円減少、為替予約(流動資産)591百万円減少、たな卸資産1,424百万円増加(平成26年9月、(株)イズミへの串戸工場1課土地売却に伴う製品在庫の積み増しなどを含む、なお工場設備は本社敷地内へ移転)、その他(流動資産)288百万円増加によるものです。負債の増加は、主に短期・長期借入金717百万円増加によるものです。純資産の減少は、主に利益剰余金127百万円減少、繰延ヘッジ損益276百万円減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期(累計)及び通期業績予想につきましては、平成26年5月9日に発表した業績予想を修正しておりません。なお、業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項ありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項ありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が280百万円減少し、利益剰余金が181百万円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,979	5,994
受取手形及び売掛金	8,949	9,341
商品及び製品	5,958	6,934
仕掛品	2,328	2,328
原材料及び貯蔵品	7,062	7,510
繰延税金資産	297	344
為替予約	2,143	1,552
その他	917	1,206
貸倒引当金	△9	△10
流動資産合計	34,629	35,203
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,318	9,283
機械装置及び運搬具(純額)	8,377	8,249
土地	11,503	11,497
立木	18,448	18,461
その他(純額)	2,697	2,522
有形固定資産合計	50,346	50,014
無形固定資産	496	476
投資その他の資産	12,758	12,761
固定資産合計	63,601	63,252
資産合計	98,231	98,456
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,507	6,184
短期借入金	10,200	10,074
未払法人税等	557	65
引当金	408	726
その他	3,531	4,530
流動負債合計	21,204	21,581
固定負債		
社債	4,700	4,700
長期借入金	22,422	23,265
繰延税金負債	3,233	3,003
引当金	346	328
退職給付に係る負債	1,105	821
その他	335	336
固定負債合計	32,144	32,455
負債合計	53,348	54,036

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,815	7,815
利益剰余金	20,730	20,602
自己株式	△2,132	△2,132
株主資本合計	33,738	33,610
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	239	395
繰延ヘッジ損益	657	381
為替換算調整勘定	7,377	7,235
退職給付に係る調整累計額	△81	△77
その他の包括利益累計額合計	8,192	7,934
新株予約権	252	255
少数株主持分	2,698	2,618
純資産合計	44,882	44,419
負債純資産合計	98,231	98,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	15,838	15,192
売上原価	10,862	10,431
売上総利益	4,976	4,761
販売費及び一般管理費	4,637	4,568
営業利益	339	192
営業外収益		
受取利息	7	10
受取配当金	25	25
受取賃貸料	40	45
その他	64	48
営業外収益合計	138	130
営業外費用		
支払利息	160	142
売上割引	114	119
為替差損	200	153
電力デリバティブ評価損	70	141
その他	7	13
営業外費用合計	553	570
経常損失(△)	△76	△246
特別利益		
固定資産売却益	10	1
その他	0	0
特別利益合計	10	1
特別損失		
固定資産売却損	22	8
固定資産除却損	0	1
設備移設費用	8	10
その他	0	0
特別損失合計	31	21
税金等調整前四半期純損失(△)	△97	△265
法人税、住民税及び事業税	206	39
法人税等調整額	△218	△150
法人税等合計	△11	△110
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△86	△155
少数株主損失(△)	△19	△21
四半期純損失(△)	△66	△134

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△86	△155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57	156
繰延ヘッジ損益	△352	△323
為替換算調整勘定	△450	△154
退職給付に係る調整額	-	4
その他の包括利益合計	△745	△317
四半期包括利益	△831	△472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△657	△392
少数株主に係る四半期包括利益	△174	△79

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。